

平成 29 年度日本赤十字社 1 ブロック原子力災害対応基礎研修会プログラム

日 時：平成 29 年 6 月 3 日(土)13:00 ～ 6 月 4 日(日)12 時 00 分

会 場：石巻赤十字病院

1 日目	プログラム
12:30	受付
13:00～13:05 (5 分)	開会 －挨拶
13:05～13:20 (15 分)	講義 1: 日本赤十字社の原子力災害への取り組み －取り組みの経緯、救護活動方針、ガイドライン 【日本赤十字社 赤十字原子力災害情報センター長 山澤 将人】
13:20～14:20 (60 分)	講義 2: 災害救護活動における放射線防護の基礎知識 【松江赤十字病院 放射線科部長 森岡 伸夫】
14:20～15:20 (60 分)	講義 3.1: 原子力災害に備えた宮城県地域防災計画(原子力災害対策編)及び広域避難計画 【宮城県環境生活部原子力安全対策課 原子力防災対策班 技師 伊藤 歩武】 講義 3.2: 宮城県における原子力災害医療体制について 【宮城県保健福祉部医療政策課 地域医療第一班 主任主査 後藤 秀剛】
15:20～15:30 (10 分)	休憩
15:30～16:10 (40 分)	講義 4: 原子力災害時の救護活動と緊急被ばく医療アドバイザーとの協働 【石巻赤十字病院 医療社会事業部長 市川 宏文】
16:10～16:40 (30 分)	講義 5: 原子力災害対策指針における基本的枠組み 【福島赤十字病院 院長 渡部 洋一】
16:40～17:30 (50 分)	講義 6/実習 1: 放射線防護資機材について －原子力災害時の救護活動における安全確保のために －デジタル個人線量計の使用法、防護服着脱方法(実演含む) 【講義 6: 石巻赤十字病院 診療放射線技師 仁杉 好一】 【実習 1: 福島赤十字病院 診療放射線技師 海藤 隆紀】

2 日目	プログラム	
9:00～9:10 (10 分)	特別講義: 緊急被ばく医療/原子力災害医療の研修について 【原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 所長 山本 尚幸】	
9:10～9:45 (35 分)	講義 7: 『新規』(原子力災害対応の課題解決に向けた取り組み) －被災者とのコミュニケーション・あなたとあなた家族を守るために・原子力災害被災地からの入院患者受け入れ 【日本赤十字社 赤十字原子力災害情報センター長 山澤 将人】	
9:45～10:45 (60 分)	グループワーク 1 (医師、看護師、事務職員対象) －ケーススタディ 【水戸赤十字病院 脳神経外科部長 兼 医療社会事業部副部長 遠藤 聖】	実習 2(放射線技師対象) サーベイメータ・個人被ばく線量計の保守方法と使用方法 【伊達赤十字病院 放射線技術課長 山内 修司】
10:45～11:00 (15 分)	休憩	
11:00～11:50 (50 分)	グループワーク 2(全員対象) －ケーススタディ 【伊達赤十字病院 副院長 佐藤 正文】	
11:50～12:00 (10 分)	閉会 －まとめ、事務連絡、挨拶	

※プログラムは開催ブロックの事情・部外講師の予定等で変更する場合があります。